

1 与薬と6R



確認や管理
服薬指導
直接的な与薬の実施
実施後の観察など

重要な役割
効果は？副作用は？




1 与薬と6R

与薬とは病気の程度やその症状に合わせて薬を与えることです。

看護師は、医薬品を医師の指示のもと正しく与薬するための確認や管理、服薬指導、直接的な与薬の実施、実施後の観察など重要な役割を担っています。

目的に合った効果が得られているか、また副作用がないかをしっかり観察し、治療にフィードバックしていくことが求められています。

注射法以外の主な与薬経路の種類
経口内服薬、口腔内薬、直腸内薬、点眼薬など
そのほか貼付剤、吸入剤、塗布・塗擦剤など



与薬時のエラーを減らすための対策
指差し、声出ししながら6項目について**Right**つまり正しい事（6R）を確認すること

与薬指示受け時・与薬準備時（この間、更に3回）・与薬直前など各段間で確実に行う
2人以上の目で確認（ダブルチェック）
何かおかしいと感じたときは**必ず立ち止り、確認や相談を行う意識を持つ**ことも重要

注射法以外の主な与薬経路の種類としては、経口内服薬、口腔内薬、直腸内薬、点眼薬などで、そのほかに貼付剤、吸入剤、塗布・塗擦剤などがあります。



与薬時のエラーを減らすための対策として、指差し声出ししながら6項目について Right つまり正しい事（6R）を確認することが重要です。

確認のタイミングは与薬指示受け時、与薬準備時（この間、更に3回）、与薬直前など各段間で確実に行いましょう。さらに準備時や施行直前などは2人以上の目で確認（ダブルチェック）を行うことも多くの施設で取り入れられています。

そして、何かおかしいと感じたときは必ず立ち止り、確認や相談を行う意識を持つことも重要です。

2 6Rとは

• Right Patient	: 正しい患者
• Right Drug	: 正しい薬
• Right Purpose	: 正しい目的
• Right Dose	: 正しい用量
• Right Route	: 正しい用法 (経路)
• Right Time	: 正しい時間 (投与時間)

「かん、じ、よう、りょうほう、やく、もく」
「患、時、用 (量法)、薬、目」

2 6Rとは

◎6つのRight

• Right Patient	: 正しい患者
• Right Drug	: 正しい薬
• Right Purpose	: 正しい目的
• Right Dose	: 正しい用量
• Right Route	: 正しい用法 (経路)
• Right Time	: 正しい時間 (投与時間)

6Rとは、正しい患者、正しい薬品名、正しい目的、正しい量、正しい投与経路、正しい時間、を確認することです。そうすることにより誤薬や患者誤認を防止することを目的としています。

ですが、正直覚えにくいので、語呂合わせで覚えてみましょう！

覚え方の例として「かん、じ、よう、りょうほう、やく、もく」

漢字に直すと「患、時、用 (量法)、薬、目」です。

少しは覚えやすくなったかと思います。この方法で6Rを使っていきましょう。

それでは6Rをひとつひとつみていきましょう。

◎正しい患者 (Right Patient)

- ・患者確認は、同姓同名の患者との誤認を防ぐため氏名、生年月日、IDなどで確認。
 - ・リストバンドによる照合や患者自身にフルネームを名乗ってもらう確認方法が有用。
 - ・看護師から「〇〇さんですよ」と言わない。
患者は名前が違っていてもとっさに返事をしてしまう場合もあるため危険。
- ※ベッドネームでの確認も、違う患者さん（認知症などで）が寝ている場合もあるため注意

◎正しい患者 (Right Patient)

- ・患者の確認には、同姓同名の患者との誤認を防ぐために氏名、生年月日、IDなどで確認。
- ・リストバンドによる照合や患者自身にフルネームを名乗ってもらう確認方法が有用です。
- ・看護師から「〇〇さんですよ」と言われると、患者は名前が違っていてもとっさに返事をしてしまう場合もあるため危険です。
また、ベッドネームでの確認も、万が一違う患者さん（認知症などで）寝ている場合もあるため注意が必要です。